

誰でも利用できる居場所・障害者の社会参加と就労支援

特定非営利活動法人 風の家通信

《2017年11月1日(秋) 第3号》

8/1 就労継続支援B型事業開始!

いよいよ動き出しました。この事業は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援」するため、利用者がもつ能力や適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにするものです。しばらく仕事から離れていた方や、初めから企業に就労するには少し不安がある等の人に、仕事をする機会を提供し、自分に合った仕事をみつけていきます。障害者手帳をもっている方や、自立支援医療などの公的制度を利用している方が対象です。

8/1 から2名でスタートし、10月に1人、11月にもう1人が加わりました。



室内作業の内容は、内職の袋詰めやホチキス止めなどの簡単な作業です。

♪ランチ売上も、工賃に反映♪

7月1日から始まったワンコインランチ、「これで500円?!」と大好評。この飲食店の補助作業もB型事業、ランチ等の売上も工賃に反映されます!



こんな感じで提供しています。基本的に安い材料で手作りに。



味噌汁を作っています

B型の利用者は、店の補助作業の他、内職の仕事や手作り商品なども作っています。それとは別に、自立生活をするための訓練として、朝、出勤してから「まかない食(自分たちの食べる食事)」の味噌汁を作ったり、ご飯を炊く作業をしたり、朝の会の司会なども、交代でやっています。今後、地域活動への参加も増えていくものと思います。みなさまのご来店や、ご支援ご協力をお願い致します。



ブロッコリーが収穫され販売



花壇の植え替え準備



スイートポテトを作ってます

地域の祭りは、10月7日のみ営業！！



祭り用メニュー、おにぎり定食やカレーと共に、唐揚げやフライドポテトなどの揚げ物、味噌おでん、揚げたこ焼きなど、「今日だけメニュー」で営業。

祭り関係者や地域の方も寄ってくれ、夜まで営業。また昼は、芸名「もなみ」さんによるミニコンサートが開催され、懐かしい歌から新しい歌まで、オカリナの演奏と共に、楽しい時間を過ごしました。ありがとうございました。

避難訓練・防災訓練！



《第1回：平成29年10月27日(金)実施5名参加》

「地震が来た！」の合図で、全員、机の下にもぐり、揺れがおさまった頃を見はからい店の外に集合。風の家の前にある駐車場で「点呼」と「けが」の確認をしました。その後、歩いて避難所となる南郷地区センターまで行き、何分ぐらいかかるかを確認。約10分程度でした。次回は…
ヘルメット購入。防災地図準備。家族へ緊急連絡訓練が必要かもしれません。

10/15 ふれあい広場に参加！！



ふれあい広場の居場所

そして風の家を紹介や、野菜や味噌、ストラップなどの販売をしました。風の家は「居場所」ということで、ふれあい広場でも居場所を作りました。

◆当日参加者…利用者2名・職員3名・正会員5名

あいにくの雨でしたが、お客様との交流(シールラリー)「これ何センチ?」、切った紐と同じ長さの紐を切ってもらおうというものでした。ピッタリ切ると、キャンディをプレゼントしました。



こだわり味噌



前日準備から当日も協力してくれた松浦直子さん、当日協力の小池さんと嶋さん、本当にありがとうございました。お蔭さまで味噌完売！手作り品も、たくさん買っていただきました。次回の販売は、南郷地区センター祭りです。

◇開所からの支援者・来客数◇※詳細を知りたい方は、別紙参照 11月1日現在	
「風の家」総合支援者数【正会員・賛助会員・寄付者・ボラ登録者等含む】	341名
居場所・飲食【6月4日開所・内覧会当日157名+その他225名=382名】	
【7月312名・8月339名・9月329名・10月456名】	1820名
就労継続支援B型事業、利用者数【8月44名・9月34名・10月54名】	132名



10月25日(水)
民生委員の野本さんがボランティアで「りんご飴」の作り方を実演してくれました。売っているのを見ても、作っているのは初めて見ました！

おいしいりんごは
おみやげ→



【編集後記】

B型事業が始まり早4ヶ月になろうとしています。不安はたくさんあるのですが、ここまで来たら、やるしかないと思われ職員一同頑張っています。なるべくなら工賃をたくさん出してやりたいと思うのですが…なかなか大変なのです。みなさん、食べに来てね！M